

港区立筈小学校
令和5年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○読み取ったことと自分の経験や知識と統合させて考える力を育成する。 ○語彙力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力が弱い。 ○語彙力が低く、自分の考えを分かりやすく伝える力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学んだ表現方法を生かして考えたことを他者に伝える機会を多く設定する。 ○朝読書を中心に読書習慣を付け、司書による読み聞かせや図書委員による本の紹介などを通して、多様なジャンルの本に興味をもつことができるようにして語彙力を高める。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○資料から情報を正確に読み取る力を育成する。 ○資料を基に自分の考えを表現する力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を正確に読み取ったり、関連付けて考えたりすることに課題がみられる。 ○資料を基に自分の考えたことを文章で記述したり、図表などに表したことを使って説明したりする力が十分には高まっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地図、グラフ、年表など、資料の種類ごとに読み取り方を繰り返し学習、反復練習させる。 ○資料を読み取り、その資料を説明したり、自分の考えをまとめたりする活動を授業の中で1回以上取り入れる。(中学年) ○資料から分かったことを確認し、根拠や理由を明らかにして記述する活動を授業の中で1回以上取り入れる。(高学年)

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○データを分類整理し、表やグラフに表したり、読んだりする力を育成する。 ○かけ算九九を身に付け、わり算の計算に生かす能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○データの活用の正答率が全国・東京都の平均よりも低い。 ○整数・小数・分数ともに、わり算の計算能力や倍の見方の考え方が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○データを整理する視点を明確にする。それぞれの表やグラフの特徴やその使い方を理解させ、適切な表やグラフを選択して表現する機会を多く設ける。 ○2年生でかけ算九九が暗唱できているのかのチェックを繰り返し行い、十分定着するように指導する。また、3年生以降も反復練習を行い、定着度を確認していく。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○科学的な事象に対して主体的に考える態度を育成する。 ○実験や観察を計画的に行い、問題解決する力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識として事実を知っていることは多いが、科学的な実体験や経験が少ない。 ○学習内容を生活と結び付けて活用する力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然に触れたり、実験や観察を多く取り入れたりして、子どもが実体験をする機会を多くつくる。 ○実験、観察を行う目的を明確にし、考えるポイントを明らかにしてから行う。また、学習内容と生活の場面を結び付ける時間をとる。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な自然の特徴やよさ、様子の変化に目を向ける態度を育成する。 ○活動から気付いたことや考えたことを自分の言葉で表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りに自然が少ないため、実際の自然に触れる体験が乏しい。 ○活動に対しては意欲的だが、そこから学んだことを表現する力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然への関心が深まるよう、継続的な植物栽培や身近な生き物探し等、自然に目を向ける活動を工夫して行うようにする。 ○活動の目的を明確にし、活動を通して気付いたことを言葉や絵、劇化、タブレットを活用する等、多様な方法を用いて表現する場を設ける。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けさせる。 ○音楽表現に対して思いや意図を持ち、楽曲の良さを見出しながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○曲の特徴にふさわしい表現のために、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつことに課題がある。 ○音楽の雰囲気や表現の工夫に興味を持ち、表現や楽曲の良さを見出す力が乏しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○表現の基礎となる音楽の知識を積み重ねるとともに、興味をもって繰り返し練習できるような魅力ある教材選択を工夫する。 ○音や楽曲を通じて気付きや思い等を伝え合い共感するなどして、音や音楽、言葉によるコミュニケーションを図る。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○つくりだす喜びを味わい、生活や社会と豊かに関わる態度を育成する。 ○「造形的な見方・考え方」を働かせる力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活体験の個人差が大きく、道具等の扱いの実体験が乏しい。 ○造形的な視点で、多様なルーツの児童の良さを生かし互いに学び合える意識がまだ十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道具等の扱い方を基礎から安全に丁寧に実体験を通した指導を繰り返す。 ○自分の生活に生かし愛着のもてる課題を設定する。 ○日本や諸外国の文化を大切にして、造形的な活動の中で学び合いの機会を設定する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○よりよい生活をするための工夫や実践的な活動をする力を身に付けさせる。 ○制作や実習を通して技能を身に付けさせ、生活に役立てる力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活体験の個人差が大きく、道具等の扱いの実体験が乏しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○裁縫や調理などの実習に加え、それに向けた準備の際には、活動の意義やきまりを守ることの必要性について考える時間を設ける。 ○ペアやグループで協力して調理や製作を行い、片付けまでしっかりと作業をさせる。

	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<p>○すすんで取り組み、運動することの楽しさを味わわせる。</p> <p>○友達と協力して、ゲームを行い自己の振り返りを行える力を身に付けさせる。</p> <p>○自己の課題に諦めずに取り組めるようにさせる。</p>	<p>○体力テストの結果から、長座体前屈が平均より下回っていた。柔軟に課題がある。</p> <p>○運動能力の差をとらえ、効果的な指導を行えるかどうか課題がある。</p>	<p>○導入の中で、自然と体を動かしたくなるような活動を取り入れる。</p> <p>○作戦タイム等を設け、友達と協力できるような環境づくりをする。その際アドバイスの視点を示す。</p> <p>○ICT機器の使用で、自分の動きを可視化し、振り返らせる。学習カードで自己評価をさせる。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	<p>○低学年は外国語の基本的な表現を理解する力を身に付けさせる。</p> <p>○中学年は自分の考えや気持ちなどを簡単な表現で伝え合う力を身に付けさせる。</p> <p>○高学年は伝え合う力に加え、基本的な言語を書く力を身に付けさせる。</p>	<p>○語彙が定着し、会話練習の中で既習事項を取り入れて会話を続ける力が弱い。</p> <p>○大文字と小文字を正しく使い分けて書く力が弱い。</p>	<p>○低学年では、歌やフォニックスを取り入れるとともに、アルファベットの大文字と小文字に十分に慣れ親しむ。</p> <p>○中学年では、評価方法を工夫し、伝え合うことに必要な表現の習得のために繰り返し指導する。</p> <p>○中・高学年では自分の名前をはじめ、大文字と小文字が用いられた単語や表現を正しく書き写す指導に十分時間を割く。</p> <p>○教科担任制を取り入れ、NTとの連携を図りやすくする。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	<p>○自己を見つめ、これからの生き方について考える力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをしっかりと見せさせる。 ・相手の話を考えながら聞かせる。 ・交流を通して自分の考えを深めたり、広めたりさせる。 	<p>○他者の意見を聞き、自分の考えを広げる力が弱い。</p> <p>○教材内の登場人物の心情に終始し、自己の生活と関連付けて考える力が弱い。</p>	<p>○児童が自分事として課題を捉え考えることができるよう、教材理解、児童理解を深めていく。</p> <p>○授業のなかの中心発問を明確にし、ねらいにせまった発問構成を考えていく。</p> <p>○教材の読み取りに終始することなく、これまでの自分やこれからの自分を振り返る時間を設ける。</p>

	育成を目指す資質・能力	学級活動、学校行事等の課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	○多様な相手と協働して活動する意義を理解し、課題を解決するために話し合い、合意形成を図り実践していく力を育成する。	○課題解決のための話し合いが自分中心になり、集団として合意形成する力が弱い。	○互いのよさや可能性を考えながら、集団や自己の生活上の課題を解決できるよう学級活動等を通じて指導していく。 ○異学年交流や児童会活動を通して、一人一人が活躍できる場を設定していく。その際に、互いのがんばりやよさに注目できるように指導する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	○地域、もの、ことにかかわる探究的な学習を通して、課題を解決し、協働的に学び、行動しながら自己の生き方を考えることができるようになるための資質・能力を育成する。	○検索の仕方、情報収集の仕方等、知りたいことを調べる力が弱い。 ○調べたことを基に自身の生活と結び付ける力が弱い。	○物事に疑問をもち、課題を見付け出すために、身近な場面から出発し、教科との関連を踏まえながら、興味・関心を高めていく。また、出前授業や体験的な授業を入れる。 ○各教科において、資料収集や資料精選する際に、学年に応じたタブレット端末等の技術を身に付けさせ、適切に情報利用できるように計画的に指導する。